

医療的ケア児等支援講演会の参加状況

(令和7年8月18日開催)

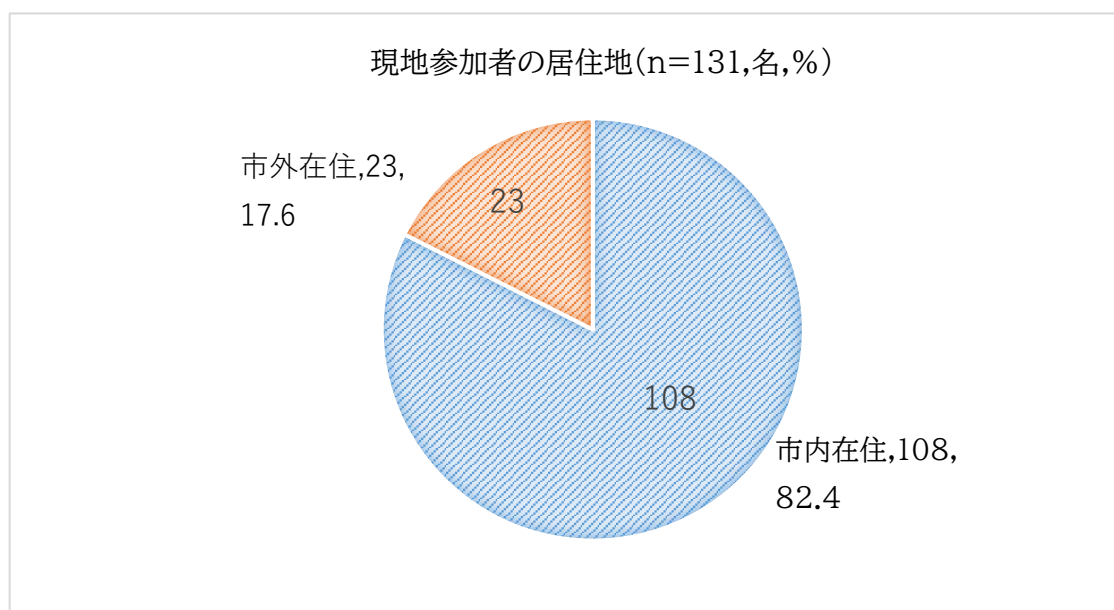
1 参加者数

○現地参加者：131名

○オンデマンド配信者：142名

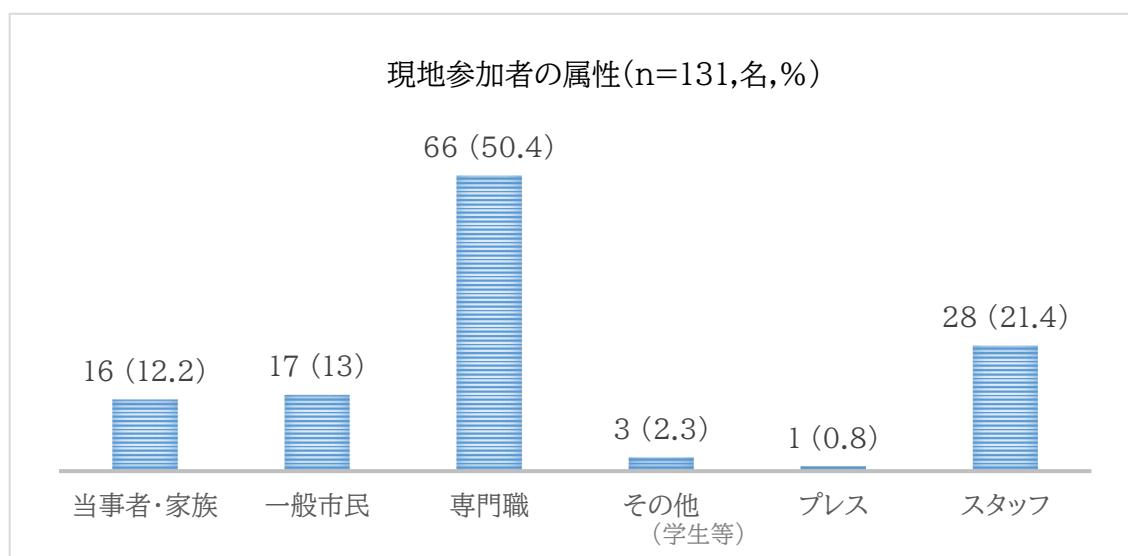
①現地参加者の居住地

現地参加者131名のうち、「市内在住」が108名(82.4%)、「市外在住」が23名(17.6%)であった。



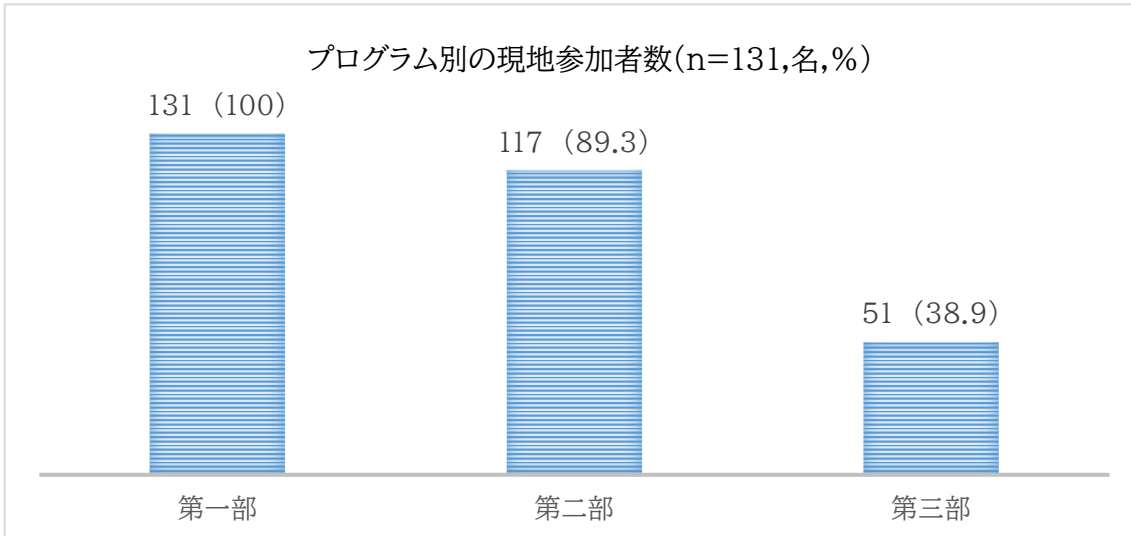
②現地参加者の属性

現地参加者の属性は、「当事者・家族」が16名(12.2%)、「一般市民」が17名(13%)、「専門職」が66名(50.4%)、「その他」が3名(2.3%)、「プレス」が1名(0.8%)、「スタッフ」が28名(21.4%)であった。



③プログラム別の現地参加者数

プログラム別の現地参加者数は、「第一部」が131名(100%)、「第二部」が117名(89.3%)、「第三部」が51名(38.9%)であった。



2 現地参加者の感想等

【当事者・家族】

○学生のプレゼンがあったうえでの当事者のお話だったため、さらによく伝わりました。

当事者ご本人が登壇し、自分の気持ちを自分の力で話すことはとても少ないので良かったです。

○大変なことだけでなく、楽しいことや前向きな内容も聞くことができ本当に感動しました。

【専門職】

○医療的ケア児本人の声、医療的ケア者の家族の声を聴き、生活の様子を垣間見ることができる良い機会になりました。学生の動画での報告も分かりやすくて良かったです。

○実際の医療的ケア児等ご本人やご家族の声を支援者を通してではなく、直接聞くことはとても意味があると感じました。人前で話すことの大変さがある中で話していただいたことに感謝いたします。

○自宅だけではなく、外に出て社会生活を送って生活をする中で、困っていることややりたいこと等、生の声を聞いたことが本当に良かったです。また、保護者目線だけでなく、子どもたち自身が生きる目標を持ち、その声を聞いたことが本当に良かったです。当たり前のようで、子ども本人の人権が尊重されて、子ども中心に社会生活を支援されるためには、本人自身の生の声をどんどんあげてもらいたいです。支援者としてこちら本位の考えではなく、子どもたちと保護者の考えを十分に聞きながら、伴走者となり共に考え支援していきたいと改めて考える良い機会となりました。

○医療的ケアの大変さは当事者や家族等にしか分からない面もあるけれど、私たちにできる小さな力を生かして、今よりもっとよりよい社会になることができるようにしていきたいと思いました。